

金ケ崎町立金ケ崎中学校 令和7年度「まなびフェスト」

【学校で取り組む「まなびフェスト」】

学校教育目標	英知 基礎・基本を大切にし、学び続ける生徒	敬愛 自らを愛し、他への敬いを忘れぬ生徒	鍛錬 常に心と体を鍛え、修練に励む生徒
まなびフェスト	○ 「わかる・できる」→「いつでもできる」授業の実践に努め主体的に学び続ける生徒の育成を目指します。 ○ 「英語教育の町」の取組で培った力を発揮できる生徒の育成を目指します。小中及び中高の学習支援の連携を図り学習習慣の確立を目指します。	○ 自分自身を大切にし、他を思いやり、あたたかい人間関係を築くことができる生徒の育成を目指します。 ○ 強い志を堅持し、粘り強くやりぬく生徒の育成を目指します。	○ 自他の生命を尊重し、心身を鍛える生徒の育成を目指します。 ○ 目標に向かって、計画的に取り組む生徒の育成を目指します。
具体的な取組	① 授業に「見通し」と「振り返り」の場があり、主体的・対話的深い学びの充実を図る授業実践に努めます。 ② 基礎・基本の定着とその活用を図るため、授業での評価や家庭学習課題に、諸調査の問題等の積極的な活用に努めます。 ③ 授業と家庭学習が連動する学習習慣の確立に向け、生徒が計画・実践する主体的な取組を促進するとともに、予習の推奨及び学び方の指導に努めます。 ④ 諸調査の結果を踏まえた、積極的な授業改善に努めます。 ⑤ 各種検定受検の取組を促進します。	① 日常的な生徒活動において、主体的・協働的な取組を促進するとともに、教育相談やQ.U等を有効に活用し、居心地の良い学級づくりに努めます。 ② キャリア教育・復興教育等の体験活動等を通して、進路設計及び人生設計に役立つ指導に努めます。 ③ 日常の諸活動及び行事等において、互いの成長を認め合い、あたたかな人間関係の構築に努めます。 ④ 特別の教科道徳の計画的な実践と評価の活用に努めます。 ⑤ 読書活動の推進に努めます。読書時間の確保 多読・熟読の推進 図書館蔵書整備	① 定期教育相談の実施と諸調査の有効活用により、困りや悩みの把握とその解消に向けた支援に努めます。 ② 安全や健全な心身の成長に向けた啓発的な指導の機会を積極的に設け、生徒の事故防止及び健康増進に努めます。 ③ 部活動の奨励と完全休養日の設定を行い、成長期にある生徒の健康維持に努めます。 ④ 生徒自身で健康管理に努めるように指導するとともに、健康診断の結果をもとに、治療促進等を促します。 ⑤ 部活動の活動計画を立案し、合理的な活動に努めます。また、時間の有効活用に努めます。
目標値	① 学習意識調査により「授業がわかる」プラス傾向90%以上を目指します。 ② 諸検査において、全教科が県平均及び全国平均以上を目指します。 ③ 家庭での生活リズムを整え、家庭学習時間が90分以上の生徒65%を目指します。 ④ 諸調査の結果を、保護者と確実に情報共有し、家庭との連携に努めます。 ⑤ 英検受検者の割合を全校の90%以上、3年生の英検3級合格45%以上を目指します。	① 毎日、元気に楽しく学校生活を送っている生徒85%を目指します。 ② 地域と連携した体験活動等を実施し、その成果を発表します。 1年：農業体験等 2年：農場体験、工場見学等 3年：地域探訪（まち歩き） 希望者：医療福祉体験等 ③ 日常の活動及び行事等で意欲的に取り組む生徒90%を目指します。また、学期ごとに授業参観日等を設定し、生徒の活動の様子をご覧いただきます。 ④ 授業参観日等において、道徳授業公開を年1回以上実施します。 ⑤ 朝読書を継続し、月3冊以上の本を読むことを推奨します。	① 教育相談を定期的に実施し、個々の生徒及び学級学年集団の実態を適確に把握します。 ② 交通安全教室、薬物乱用防止教室、情報モラル教室、思春期講座等を実施します。 ③ 週に2日（毎週月曜日及び土曜日または日曜日）を部活動休養日とします。また、時間の有効活用ができるよう支援指導を行います。 ④ 治療勧告等をもとに、生徒80%が受診することを目指します。 ⑤ 部活動の活動方針及び適切な活動内容を検討します。また、活動時間は平日2時間以内、休業日は3時間以内とします。

大志拓路 大いなる志を実現するため、路を切り拓き続ける人の基盤育成を目指す

【家庭でご協力を頂きたい「まなびフェスト」取り組み】

学校教育目標	英知 基礎・基本を大切にし、学び続ける生徒	敬愛 自らを愛し、他への敬いを忘れぬ生徒	鍛錬 常に心と体を鍛え、修練に励む生徒
家庭での具体的な取り組み	① 計画的な家庭学習時間の確保と質の向上に向け協力する。 ② 各種調査等の結果を親子で確認し、次の目標を設定し、学習への意欲付けを図る。 ③ 英検等の資格取得を奨励し、その取り組みに協力する。	① キャリア教育等の体験活動から、進路設計について親子で話し合う機会を設ける。 ② 読んでいる本について、家庭で話題にして読書を推奨する。 ③ 授業参観等に参加し、共に成長を確認する機会を大切にする。	① 早寝、早起き、朝ご飯と元気な挨拶を励行する。 ② 家庭におけるメディアの適正な利用について話し合う等して、家庭における時間の有効活用を支援する。 ③ 治療勧告をもとにした受診と治療に努める。